

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線：7932)

2目 文化財保護費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 鳥取県文化財 防災・防犯対策事業	(1,404) 258	(0) 0	(1,404) 258	(0) 0	(0) 0	(1,146) 0	(258) 258	

トータルコスト 1,872千円 (前年度 0千円) [正職員：0.2人]

主な業務内容 指定文化財の状況確認、調査及び各関係機関との意見調整・意識啓発

工程表の政策目標 -

※上段( )内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取県内にある国・県指定文化財が滅失しないよう、防災・防犯対策を行う。  
効果的な取組とするため、各文化財の現況を調査し、その情報を基として、消防・警察との連携、各地域への講座等による意識啓発、防災・防犯設備の整備促進を実施。  
それぞれの事業を有機的に結びつけることで、県内の文化財防災・防犯対策の水準底上げを図る。

2 事業内容

(単位：千円)

区分	予算額	事業内容
県内の指定文化財の状況調査、把握	46	・国、県指定文化財の保管状態の現況調査 ・情報を分析し、危険度を把握 (緊急雇用創出事業を活用：商工労働部一括予算計上) 雇用創出人数 1人
警察・消防機関との連携	17	・県警、消防との現況調査の情報共有 ・三者会議を開催し、対策を練る
所有者・地域住民への防災・防犯意識啓発	181	・市町村等への防犯対策の講習会を実施 ・状況調査の結果を所有者へ通知
文化財防災・防犯設備の整備促進	14	・防災、防犯設備の整備を打診 ・設備の整備にあたり障害となることをアンケート調査等
合計	258	

3 これまでの取組状況、改善点

県内での文化財に対する防犯・防災対策事業は、必ずしも十分とは言えず、年間1、2件程度の改修が行われているだけであった。

また、防災・防犯対策の観点(鍵の種類や建具の状況等)から国・県指定文化財の状況全て把握してはいない。